

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路改良事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	01	道路改良事業

実施計画整理番号	
301010101	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
P L A N (計 画) 道路利用者が安心・安全に通行できるよう、道路整備を行う。	道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
道路利用者が安心・安全に通行できるような道路拡幅整備の実現を図る。	圏央道アクセス…用地交渉は継続して行い、第二四半期までに契約を予定、また買収に関係の無い箇所改良工事は、上半期に発注する。 幹線道路の整備…第一四半期に2級2号線の工事を実施する。 生活道路の整備…3級6047号線の工事を第二四半期までに発注、電柱移転については、工事完了後に移設依頼を行う。 3級8014号線の不動産鑑定評価、用地測量、用地買収を実施

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費		千円	125,600	127,488	51,757	115,000	172,219	91,545	119,200	100,333	96,134
財 源 内 訳	国補助	千円	35,200	27,123	4,788	55,000	60,500	15,297	60,500	39,915	37,702
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	80,000	88,900	34,700	54,000	67,500	67,500	52,700	54,300	50,000
	その他	千円	0	0	6,564	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,400	11,465	5,705	6,000	44,219	8,748	6,000	6,118	8,432

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	圏央道アクセス道路の整備	110,000	72,573	68,599	用地取得は概ね完了。 継続して整備工事及び残る用地交渉を実施する。
②	幹線道路(市道1級)の整備	0	0	0	
③	生活道路(市道3級)の整備	9,200	27,760	27,535	予定箇所の整備は完了した。 今後、継続箇所の整備工事を行う。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		119,200	100,333	96,134	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
圏央道アクセス道路 … 道路改良工事、用地買収(補償含む)1件を実施 生活道路の整備 … 用地買収3件、予定箇所の測量業務及び整備工事を実施

D
O
(
実
施
)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路改良事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	01	道路改良事業

整理番号	
301010101	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況 道路改良箇所数 4箇所を実施した。	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況 着手(整備)率 51箇所/153箇所 33.3%	
妥当性の評価とその理由 A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備をした。また、市民からの要望も多い。	有効性の評価とその理由 A:有効である 用地買収は概ねの了承を得られ、幹線道路及び生活道路は、安心・安全に通行できる整備が行えた。	効率性の評価とその理由 B:やや効率的である 一部の路線で暫定形式での整備を行い、コストの削減に努力している。用地交渉に多大な時間が必要である。
「情報の共有」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会へ回覧を行っている。	「参加」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会への意見収集	「協働」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 用地買収について、地元自治会へ関係地権者への協力を依頼している。
所管による評価とその理由、課題・問題点 B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 圏央道アクセス道路の整備については、用地交渉に多大な時間を費やしたことから事業進捗が図れなかったが、概ねの了解は得られたため、引き続き用地取得に向けて交渉を行う。幹線道路、生活道路の整備は、計画した路線の事業進捗が図れた。複数の路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望件数に対し進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。		
企画政策課での評価とその理由 B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 幹線道路及び生活道路の整備については概ね事業進捗が図られおり、概ね成果があったものと認められる。遅延箇所については引き続き整備を図るものとする。		
政策調整会議での評価とその理由 (Blank)		
庁議における方針 (Blank)		

29年度活動指標(アウトプット)の設定 道路改良箇所数	29年度成果指標(アウトカム)の設定 整備率(着手箇所/要望箇所)
29年度における事務事業スケジュール 圏央道アクセス … 残る用地について交渉を行い、用地を取得する。 幹線道路の整備 … 第2四半期に1級12号線の整備を進める。 生活道路の整備 … 第3四半期までに3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行う。	平成29年度における具体的な目標 圏央道アクセス … 継続して交渉を行い、用地の取得を目指す。また用地取得済み箇所のうち影響のない場所から工事発注を行う。 幹線道路の整備 … 1級12号線の工事を発注し、通行車の安全確保に努める。 生活道路の整備 … 3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行い、安全性、利便性の向上を図る。

CHECK (評価)

A C T (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路舗装新設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路舗装新設事業

実施計画整理番号	
301010102	
総合戦略 整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
P L A N (計 画)	道路利用者が安心・安全に通行できるように道路整備を行う。
	未舗装道路の舗装工事の実施
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
舗装新設工事を行うことにより、道路利用者が安心・安全に通行できるような道路の実現を図る。	当初予算の予定箇所を上半期に発注する。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,600	13,399	13,394	3,500	14,218	14,181	3,500	11,973	11,961
財 源 内 訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,600	13,399	13,394	3,500	14,218	14,181	3,500	11,973

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	生活道路の舗装新設	3,500	11,200	11,189	法定外道路を含む8路線の整備を行った。 今後も要望箇所の整備を実施する。
②	私道の舗装新設	0	773	772	地元実施の整備工事に対し補助金を交付した。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		3,500	11,973	11,961	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
法定外道路 本納地先をはじめ9箇所の整備工事を実施した。 また、私道の整備に対し地元組合へ補助金を交付した。

D
O
(
実
施
)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路舗装新設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路舗装新設事業

整理番号	
301010102	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路舗装整備延長 612mを施工した。		整備率 45,704m/69,581m 65.7%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	生活道路における未整備路線を安心・安全に利用できるような整備が図られた。	B:やや効率的である	事業箇所を選択・集中を行い、コスト削減を図る必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初及び補正予算の予定路線の整備が図られた。複数路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望に対して進捗率が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定路線の整備を行ったことで、当初の目的は達成されているものと認められる。今後も計画的に路線の整備を図るものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	道路舗装延長		整備率	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
予定している2箇所及び私道舗装補助金の交付事務について、上半期中の発注を行う。		3級6045号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

実施計画整理番号	
301010103	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	生活環境の保全及び交通の円滑化と事故防止のため、道路補修を実施する。	道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
路面性状調査の結果を基に、早急に修繕が必要な区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ	今年度も国の補助金を活用し道路舗装修繕を行う	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	22,793	45,974	45,063	201,479	188,988	188,191	201,479	172,320	171,993	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	99,000	100,472	71,266	99,000	48,703	48,657
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	72,900	73,900	52,400	72,900	35,800	28,500
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	22,793	45,974	45,063	29,579	14,616	64,525	29,579	87,817	94,836

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	幹線道路(市道1・2級)の舗装補修	180,000	88,551	88,550	継続的に道路の舗装補修工事を行っていく
②	生活道路(市道3級・法定外)の舗装・維持補修	13,000	73,878	73,831	継続的に道路の舗装・維持補修工事を行っていく
③	道路補修用資機材の調達・保守	8,479	9,891	9,612	継続的に道路維持補修用資機材を調達し、道路の維持補修を行っていく
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		201,479	172,320	171,993	

<p>平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <p>道路舗装補修工事20箇所 道路維持補修工事29箇所 常温合材・加熱アスファルト・U字溝等購入</p>
--

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

整理番号	
301010103	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路舗装補修工事20箇所 道路維持補修工事29箇所		交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数(舗装補修20箇所、維持補修29箇所)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市が管理する道路であり、市が舗装修繕する必要がある。	A:有効である	道路舗装補修を実施することで交通の円滑化と事故防止が図られた。	B:やや効率的である	道路舗装補修が一部にとどまっている為。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、道路舗装の補修をすべき箇所が多数残っている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね計画通り事業進捗が図られており、一定の成果があったものと認められる。今後も計画的な維持補修を図るものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						
ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	道路舗装補修箇所数 道路維持補修箇所数		交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数(修繕が完了した箇所数)			
29年度における事務事業スケジュール			平成29年度における具体的な目標			
国の補助金を活用し、道路舗装修繕を行う。			路面性状調査の結果を基に、早急に修繕が必要区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。			

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

実施計画整理番号	
301010104	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市管理の橋梁について、計画的な予防保全的維持管理に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減と併せて地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、順次橋梁の修繕を実施し、定期的に橋梁点検を行う。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。	今年度も国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	34,700	34,700	34,106	151,200	95,937	56,037	114,900	140,476	140,476	
財源内訳	国補助	千円	19,085	19,085	18,759	80,190	50,846	29,942	63,195	63,189	77,253
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	8,200	9,100	8,900	59,000	37,415	18,600	46,500	40,300	51,100
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,415	6,515	6,447	12,010	7,676	7,495	5,205	36,987	12,123

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	点検業務	0	14,256	14,256	継続的に橋梁点検を行っていく
②	修繕・耐震工事の設計業務	44,300	20,950	20,950	継続的に橋梁補修の設計業務を行っていく
③	長寿命化修繕及び耐震工事	70,600	105,270	105,270	継続的に橋梁修繕工事を行っていく
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		114,900	140,476	140,476	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
橋梁点検業務委託26橋 橋梁補修設計業務委託2橋 橋梁修繕工事3橋

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

整理番号	
301010104	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	橋梁点検26橋 橋梁補修設計2橋 橋梁修繕工事3橋		道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数(橋梁点検26橋、橋梁補修設計2橋、橋梁修繕工事3橋)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市が管理する橋梁の為、市が主体的に修繕を行う必要がある。	A:有効である	橋梁の点検及び補修設計により、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に寄与した。	B:やや効率的である	市管理橋梁の点検及び補修設計が一部にとどまったため。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、市で修繕すべき橋梁が多数残っている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね計画通りの事業の進捗が図られており、一定の成果があったものと認められる。今後も計画的な点検及び修繕を行うものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。		道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数(点検・補修設計・修繕工事を行った箇所数)	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。		「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図るため、河川改修事業を推進する。	JR外房線本納駅周辺の浸水被害対策のため、準用河川乗川の改修に必要な用地取得を進めます。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
4名・480㎡の用地取得を進め、取得済面積を14,735㎡(進捗率55%)とし、工事着手が可能になった際に、円滑に改修工事が推進できるよう備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉(4月～12月) ・用地買収(10月～3月) 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	12,000	12,000	10,739	12,000	14,964	13,471	13,000	24,177	12,178	
財源内訳	国補助	千円	4,000	4,000	3,579	4,000	4,000	4,173	4,200	4,300	1,111
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	7,200	7,200	6,400	7,200	7,900	7,600	7,900	8,400	2,100
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	800	800	760	800	3,064	1,698	900	11,477	8,967

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	河川拡幅用地の取得【乗川】	13,000	15,148	3,646	1件の用地を取得した。引き続き用地取得推進する。
②	河川拡幅用地の取得【梅田川】	0	9,029	8,532	河川改修計画を作成し、国の交付金事業により浸水対策の早期完成を図る。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		13,000	24,177	12,178	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<p>(乗川) 1件・1筆(133.30㎡)を用地取得した。</p> <p>(梅田川) 梅田川の河川改修計画に新たに排水機場を取り込み計画を作成し、国の交付金事業に採択された。</p>

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号	
302010201	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	(乗川) 河川拡幅用地として、1件・1筆(133.30㎡)を取得した。		平成28年度末時点の用地取得率を約55.4%まで向上させた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。		A:有効である 安全で豊かな地域社会の保全に資する。		A:効率的である 国の社会資本整備総合交付金により実施。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる 地元からの要請により説明会を開催し、計画及び進捗状況等の説明に努めている。		B:実現に向けて取り組んでいる 地元からの要請により説明会を開催し、計画及び進捗状況等の説明に努めている。		B:実現に向けて取り組んでいる 本納地区まちづくり推進協議会等の意見を聴き、今後の整備スケジュールを検討する。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		(乗川) 1件・1筆(133.30㎡)を取得し一定の成果があったものの、計画した用地取得ができなかった。 (梅田川) 梅田川の河川改修計画に新たに排水機場を取り込み計画を作成し、国の交付金事業に採択された。			
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		・乗川 早急に予定している用地を取得し、円滑な改修工事を推進するものとする。 ・梅田川 順調に事業が進捗していると認められる。引き続き計画的に整備を推進するものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	(乗川) 河川拡幅用地として、2件・3筆(1290㎡)を取得する。 (梅田川) 排水機場用地として、2件・2筆(340㎡)取得及び物件移転を補償する。		(乗川) 平成28年度末の用地取得率55.4%を60%に向上し、円滑な改修工事の備えとする。 (梅田川) 排水機場用地5件のうち2件を取得し、平成30年度以降の円滑な用地取得及び工事の備えとする。	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
(乗川) 用地交渉(4月~12月) 用地買収(10月~3月)		(梅田川) 用地交渉(8月~3月) 用地買収、移転補償(11月~3月)		
		(乗川) 河川拡幅用地として、2件・3筆(1290㎡)を取得する。 (梅田川) 排水機場用地として、2件・2筆(340㎡)取得及び物件移転を補償する。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

実施計画整理番号	304030101
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	合併処理浄化槽設置促進について、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置に対する補助制度を継続するとともに、浄化槽の機能を発揮させるため、設置者への指導や広報紙等による啓発を行い、公共用水域の水質汚濁防止に努める。	単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置する市民に対し補助金を交付する
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール

単独処理浄化槽からの転換18基、汲み取り便槽からの転換7基を実施する。
4月ホームページに掲載
4月10月広報掲載

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,190	9,190	7,000	9,190	9,190	6,070	9,190	9,190	5,370	
財源内訳	国補助	千円	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750	1,400	1,750	1,750	1,190
	県補助	千円	3,720	3,720	2,800	3,720	3,720	2,440	3,720	3,720	2,160
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,720	3,720	2,450	3,720	3,720	2,230	3,720	3,720	2,020

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	合併処理浄化槽の設置促進	9,190	9,190	5,370	補助基数15基、今後は補助額の増額を検討する必要がある。
②	広報による浄化槽の適正管理の推進	0	0	0	概ね達成できた。引き続き推進する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		9,190	9,190	5,370	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
 単独浄化槽転換設置5人槽390,000円×8基=3,120,000円 10人槽390,000円×1基=390,000円
 汲み取り転換設置5人槽310,000円×5基=1,550,000円 7人槽310,000円×1基=310,000円

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

整理番号	
304030101	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	平成28年度合併処理浄化槽補助基数 合計15基 単独浄化槽転換設置 5人槽-8基 10人槽-1基 汲み取り転換設置 5人槽-5基 7人槽-1基		水質汚濁が図られた処理人口 45人 平成28年度末合併処理浄化槽処理人口 30,093人			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 単独浄化槽及び汲み取り便槽から合併浄化槽への転換をする市民に対し補助金を交付した。		A:有効である 生活排水対策として、地域・建物の用途を定め合併処理浄化槽への転換設置者に対し助成を行い、公共用水域の水質汚濁防止を推進した。		A:効率的である 浄化槽の機能を発揮させるため、設置者への指導や広報紙等による啓発を行った。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 広報やホームページにおいて周知している。		C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		補助金額が千葉県内でもかなり低く、補助件数を増やすためにも一般的な水準の補助金額まで増額を要望していく必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		合併浄化槽に対する補助基数については、目標25基のところ15基であり、目標には届かなかったが、水質汚濁が図られた処理人口については、増加しており、水質汚濁防止の観点からは一定の成果が認められる。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	補助基数		水質汚濁防止が図られた処理人口	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
4月ホームページに掲載 4月10日広報掲載		単独処理浄化槽からの転換18基、汲み取り便槽からの転換7基を実施する。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業
7	02	02	02	排水整備事業

実施計画整理番号	
304040101	
総合戦略整理番号	-

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	大雨による床上浸水等の内水及び住宅地の浸水や道路冠水等、流域の浸水被害、排水不良地域の解消を図る。	内水対策については、清水地区を継続的に整備促進を図り、排水整備については茂原市排水基本計画に基づき排水施設の整備促進を図る。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール

排水整備2箇所(鷺巣・高師)を完了し、その他内水対策・排水整備5箇所の促進を図る。

内水対策の実施【清水地区】(5月～7月)
 幹線排水路の整備(5月～11月)
 支線排水路の整備(5月～11月)
 内水対策の実施(5月～3月)

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	53,550	260,514	127,298	15,750	172,234	159,060	12,750	216,377	91,717
財 源 内 訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	32,000	14,000
	市債	千円	30,800	97,200	11,500	11,800	28,400	112,900	9,500	135,900
	その他	千円	0	62,545	62,545	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	22,750	100,769	53,253	3,950	143,834	46,160	3,250	48,477

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	内水対策の実施【清水地区】	750	756	756	排水路の整備を推進し、対策の進捗を図った。引き続き整備を推進し内水被害の軽減を図る。
②	内水対策の実施【東郷字富士見地先】	0	156,553	44,394	ポンプ整備のための水門設置工事を行い、引き続き躯体工事・ポンプ設備工事等を実施し被害軽減を図る。
③	幹線排水路の整備	9,700	20,361	17,904	排水路の整備を推進し、排水不良箇所の改善を図った。引き続き整備を推進し生活排水及び雨水排水の改善を図る。
④	支線排水路の整備	2,300	14,248	14,248	排水路の整備を推進し、排水不良箇所の改善を図った。引き続き整備を推進し生活排水及び雨水排水の改善を図る。
⑤	内水対策の実施【早野地先】	0	10,365	10,365	緊急対策として排水路の整備を実施し、内水被害の軽減を図った。
⑥	排水ポンプの設置【早野水門・その他】	0	14,094	4,050	内水被害地区の調査及び対策検討を実施し、ポンプ施設の詳細設計を引き続き行う。
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		12,750	216,377	91,717	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・内水対策及び未改修排水路9箇所の整備を実施。 ・早野水門(梅田川)の測量調査及び事業実施資料を作成。

D
O
(実
施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業
7	02	02	02	排水整備事業

整理番号	
304040101	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	排水路整備工事5箇所 320mを実施 内水対策関連工事3箇所を実施		排水整備 5箇所の完了(粟生野2箇所・法目・長谷・八幡原) 内水対策 1箇所の完了(早野)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。		A:有効である 安全で豊かな地域社会の保全に資する。		A:効率的である 事業箇所の選択と集中により、効率の向上が見込める余地がある。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 自治会及び地元説明会、出前講座等において整備に関する説明を行っている。		A:実現している 自治会及び地元説明会、出前講座等において、参加者から整備に関する意見を受けている。		A:実現している 地元調整が必要な事案について、自治会等に協力してもらう。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		浸水被害の軽減及び生活排水の環境改善のため6箇所の排水路整備が完了し排水状況の大幅な改善を図った。また、排水ポンプによる内水対策として東郷地先水門の工事に着手し平成29年度完成を目指す。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		排水整備事業に関しては、予定通り工事が完了しており、今後も計画的な排水整備に努めるものとする。内水対策事業については、翌年度へ繰り越す取り組みがあり、早急に完了させるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						
A C T (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	排水路整備 3箇所 505mを実施 内水排除ポンプ 1箇所(ポンプ設備)を実施		排水路整備 2箇所(下永吉・高師)の完了 内水排除ポンプ設置(東郷地先水門)の完了			
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標				
支線排水路の整備(5月～11月) 内水対策の実施(6月～3月)		排水路整備 2箇所(下永吉・高師)の完了 内水排除ポンプ設置(東郷地先水門)の完了				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	03	排水施設整備事業

実施計画整理番号	
304040103	
総合戦略 整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
道路利用者の安全性を確保するために、道路排水不良箇所の整備を行う。	道路排水整備工事の実施
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
道路排水整備工事を実施し、道路利用者の利便性や安全性の向上の実現を図る。	予定箇所(2箇所)及び私道排水補助金の交付事務を上半期に発注する。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	5,000	22,699	22,693	5,000	9,566	9,496	5,000	18,280	18,092
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,000	22,699	22,693	5,000	9,566	9,496	5,000	18,280

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道路排水の整備	5,000	17,578	17,390	8箇所のうち2箇所が完了した。継続路線等について今後も整備を図る。
②	私道の排水整備	0	702	702	地元実施の整備工事に対し補助金を交付した。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		5,000	18,280	18,092	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
市道1級28号線 東郷地先他7箇所の合計278mの整備を実施した。 私道排水整備工事1件に対し、地元組合へ補助金の交付を行った。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	03	排水施設整備事業

整理番号	
304040103	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路排水不良箇所 9箇所の整備を行った。		整備(着手)率 79箇所/306箇所 25.8%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備をした。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	排水不良箇所の解消が図られた。	B:やや効率的である	事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図る必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初及び補正予算の予定路線の整備が図られた。複数路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望に対して進捗率が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね計画路線の整備が行われており、当初の目的は達成されているものと認められる。今後も計画的な整備を行うものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	排水不良箇所の整備(箇所数)		整備(着手)率	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
予定している2箇所及び私道排水整備補助金の交付事務について上半期の発注を行う。		1級26号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	02	03	緑化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業

実施計画整理番号	
305020301	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	緑のある美しいまちづくりを進めるため、公共施設へ緑や花の植栽に努めるとともに、自治会等に市の花コスモスの種子を配布するなど、全市的な「花いっぱい運動」を展開し、普及を図ることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への緑や花の植栽 自治会等に市の花コスモスの種子配布 花いっぱいコンクールの実施
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
自治会等各種団体や花いっぱい運動推進協議会との協働により、花いっぱい運動に関する市民への啓蒙を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への緑や花の植栽(通年) 自治会等に市の花コスモスの種子の配布(6月) 花いっぱいコンクールの実施(春・秋) 花いっぱい運動推進協議会の運営(通年) 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,488	2,488	2,375	2,577	2,608	2,448	2,488	2,346	2,251
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,488	2,488	2,375	2,577	2,608	2,448	2,488	2,346

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	公共施設への緑や花の植栽	2,066	1,897	1,798	
②	自治会等に市の花コスモスの種子配布	252	277	299	
③	花いっぱいコンクールの実施	80	82	64	
④	花いっぱい運動推進協議会の運営	90	90	90	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,488	2,346	2,251	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原駅南口・東口ロータリー花壇及び公民館前花壇への草花の植栽、また、公共施設や商店街に草花を配布した。 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布した。(160リットル) ・花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催した。 ・花いっぱい運動推進協議会の活動を支援するため、補助金を交付した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	02	03	緑化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業

整理番号	
305020301	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
全市的な花いっぱい運動を展開することを指標とする。 ・公共施設への草花の植栽(21箇所、19、167苗) ・自治会等に市の花コスモスの種子の配布(160リットル) ・花いっぱいコンクールの実施(春・秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営(4回)		緑や花を育てる市民意識の高揚を図り、緑豊かなうるおいのあるまちづくりに努める。 ・花いっぱいコンクール参加者数(6個人、32団体) ・地域の花壇数(15箇所)前年比+1			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	公共施設へ草花を植栽し、緑ある美しいまちづくりを推進した。	A:有効である	自治会等に市の花コスモスの種子の配布や花いっぱいコンクールを開催するなど、全市的な花いっぱい運動を展開した。	A:効率的である	千葉県まちづくり公社からの寄附による花苗を有効に活用した。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	広報紙及び市ウェブサイトにて花いっぱいコンクールの周知を図った。	B:実現に向けて取り組んでいる	緑化の推進のため、コンクール参加者の更なる拡大に取り組む必要がある。	A:実現している	花いっぱい運動推進協議会との連携を通じて取り組みを行った。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取り組みを通じて、市民意識の高揚を図り、緑化の推進には一定の成果を挙げたものと考えている。課題としては、花いっぱいコンクールの参加者が固定化されていることから、開催方法等について更なる研鑽が必要と考える。				
企画政策課での評価とその理由					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	緑ある美しいまちづくりの推進において、一定の効果が認められる。花いっぱいコンクールについては、広くPRし、多くの参加者を集めることのできるよう検討するものとする。				
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
全市的な花いっぱい運動を展開することを指標とする。 ・公共施設への草花の植栽(場所、配布数) ・自治会等に市の花コスモスの種子の配布(配布数) ・花いっぱいコンクールの実施(回数) ・花いっぱい運動推進協議会の運営(回数)		緑や花を育てる市民意識の高揚を図り、緑豊かなうるおいのあるまちづくりに努める。 ・花いっぱいコンクール参加者数 ・地域の花壇数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
・公共施設への草花の植栽(通年) ・自治会等に市の花コスモスの種子の配布(6月) ・花いっぱいコンクールの実施(春、秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営(通年)		・茂原駅ロータリー及び公民館前の花壇への植栽 ・公共施設や商店街に草花を配布する。 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布する。 ・花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催する。 ・花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金を交付する。	

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	03	都市公園等維持補修事業

実施計画整理番号	
305030101	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	公園内の遊具・施設について、子供たちが楽しく、安心して遊べるよう、適正な維持管理を行う	老朽化した遊具・施設を計画的に補修・更新していく
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
公園の定期点検で、注意すべき施設・遊具になったものについて、3か年程度の補修計画を策定する。	①各種公園の補修工事1件	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	34,819	40,500	40,422	14,650	13,750	13,657	8,000	6,273	6,273
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	34,819	40,500	40,422	14,650	13,750	13,657	8,000	6,273

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原公園の施設整備	1,500	0	0	今後も継続的に取り組む必要がある。
②	富士見公園の施設整備	0	1,458	1,458	目標は達成され、今後も継続的に取り組む必要がある。
③	萩原公園の施設整備	0	2,322	2,322	目標は達成され、今後も継続的に取り組む必要がある。
④	各公園の老朽遊具の更新	3,500	0	0	今後も継続的に取り組む必要がある。
⑤	各公園の老朽施設の補修	3,000	2,493	2,493	目標は達成され、今後も継続的に取り組む必要がある。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		8,000	6,273	6,273	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
①各種公園の補修工事6件 ②各種公園の施設設置工事1件

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	03	都市公園等維持補修事業

整理番号	
305030101	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	①各種公園の補修工事6件 ②各種公園の施設設置工事1件		公園の利用者数(茂原公園、富士見公園、萩原公園)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	公園の適正な維持管理をするためには、公共事業にて管理施工する必要がある。	A:有効である	施設維持における補修の成果は、確実に得られている。	A:効率的である	日常の点検管理を行い、将来的なコスト増大にならないよう、予防保全的な維持管理に努める。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない	施設の整備工事及び補修工事であるため、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	施設の整備工事及び補修工事であるため、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	施設の整備工事及び補修工事であるため、取り組む余地がない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	緊急を要する補修に関して、即刻対応できた。 今後も利用者にとって、安全で安心な公園施設を維持するために、老朽化した施設を計画的に補修を図る必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種公園の補修工事1件を予定してたところ、補修工事6件、施設設置工事1件と目標を達成されている。今後も計画的な公園整備に努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の施設設置工事1件		公園の利用者数(茂原公園、富士見公園、萩原公園)	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の施設設置工事1件		公園の利用者数(茂原公園、富士見公園、萩原公園)		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

実施計画整理番号	
305030102	
総合戦略整理番号	32103

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原市の中心的都市公園である茂原公園を、さくらの再生による観光地としての魅力増進及び多世代の市民が交流できる場としての公園整備を実施する。	茂原公園の利用増大につながる公園づくりを推進する為の再生計画を策定する。また、茂原公園再生計画の基本方針を踏まえ、施設の整備やイベントの開催を支援する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
	・茂原公園再生計画の策定	茂原公園サクラの点検(点検220本) 茂原公園サクラ外科治療(外科治療56本)

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円				0	6,470	6,470	0	3,334	3,334
財源内訳	国補助	千円			0	6,469	6,469	0	2,859	2,859
	県補助	千円			0	0	0	0	0	0
	市債	千円			0	0	0	0	0	0
	その他	千円			0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円				0	1	1	0	475

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	多世代が行き交う公園としての再生計画と改修	0	0	0	
②	茂原公園の桜の再生	0	3,334	3,334	目標は達成され、今後も継続的に取り組む必要がある。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	3,334	3,334	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
茂原公園サクラの点検(点検220本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療56本)

DO(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

整理番号	
305030102	
総合戦略 整理番号	32103

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
茂原公園サクラの点検(点検220本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療56本)		茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数304本 治療済157本			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	茂原公園再生計画は、観光地としての魅力や多世代が集う場として公園再生に結びつくものである。	A:有効である	さくらの外科治療は、茂原公園内のさくらの樹勢回復の成果は得られている。	B:やや効率的である	茂原公園再生に係る経費削減は避けられないが、今後の経費増大にならないよう適性な維持管理に努める。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
その他	茂原公園再生計画におけるハード整備の実施予定年度との整合性整合性がないため、共有が難しい。	B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組みが計画されている。	B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組みが計画されている。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		日本さくらの名所100選として、さくらの魅力の再生やさくらを楽しむための知名度の向上を図るため、さくらの健全度調査や外科治療の成果は得られていると考えるが、茂原公園再生計画における観光地としての魅力や多世代の来園者の増につなげるためには、ハード整備による環境を整えることが必要不可欠である。			
企画政策課での評価とその理由					
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		さくらの再生事業については、順調に進捗していると認められる。今後は、茂原公園再生計画と整合させるとともに、ハード事業を含め整備し、利用者の増加に努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
茂原公園サクラの点検(点検120本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療77本)		茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数304本 治療済234本	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
茂原公園サクラの点検(点検120本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療77本)		茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数304本 治療済234本	

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

実施計画整理番号	
306010201	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
昭和56年5月31日以前に着工された木造2階建て以下の戸建て住宅の耐震性を高め、地震による倒壊を防止する。	昭和56年5月31日以前に着工された木造2階建て以下の戸建て住宅の所有者に対し、耐震診断、耐震改修を行う際に、その費用の一部を負担する。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
耐震診断、耐震改修に要した費用の一部を補助することにより耐震化を推進する	耐震相談会：第1回平成28年5月27日(金)、第2回平成28年6月26日(日)、第3回平成28年8月26日(金) 第4回平成28年9月25日(日)、第5回平成28年11月25日(金)、以上5回開催(各回、耐震診断士2名を派遣) 産業まつり：平成28年11月3日(木)耐震相談ブースを出店し耐震相談の周知と補助金について来場者へ案内 相談会等の周知：広報誌への掲載、HPへの掲載、自治会回覧

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	5,292	1,098	1,098	5,292	152	152	5,292	684	684	
財源内訳	国補助	千円	2,600	502	502	2,600	75	75	2,600	241	241
	県補助	千円	1,300	250	250	1,300	37	37	1,300	118	118
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,392	346	346	1,392	40	40	1,392	325	325

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	無料耐震相談会の開催	92	92	92	計画どおり全5回の相談会を実施。計14組の相談を行った。平成27年度より5組増加。
②	耐震診断費用の助成	1,200	592	592	耐震診断費補助額を増加したこともあり、5件の補助金を交付。平成27年度より4組増加。
③	耐震改修費用の助成	4,000	0	0	改修工事に伴うリフォーム補助金を上乗せ初年度であったが、利用者は0組。平成27年度実績0組。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		5,292	684	684	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

耐震相談会：平成28年4月に発生した熊本地震の影響から、耐震に対する注目度が高まり、相談会申込者が平成27年度より5組増加。一時はキャンセル待ちも。
 耐震診断補助：熊本地震の被害による注意喚起により、耐震診断費補助金を活用し、建物の診断を行う人が平成27年度より4組増加。
 耐震改修補助：診断の結果を受けて耐震改修を選択する人がいる一方で、改修工事費が高いことを理由に解体、建て替えを選択する人もいた。産業まつりブース出店、広報誌への掲載、HPへの掲載、自治会回覧。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

整理番号	
306010201	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
計画通り、年5回の耐震相談会を実施。 相談組数14件。 耐震診断費補助金交付者5件。		市内建築物の耐震化率の向上。 平成27年度82.75%→平成28年度83.15%	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である	頻発する地震に対する耐震化率の向上を目指し、行政が市内建築物の耐震化を支援する必要がある。	B:やや有効である	耐震補助対象建築物の所有者が高齢化しており、高額な耐震改修費用の捻出が困難な社会背景がある。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由	
B:実現に向けて取り組んでいる	広報誌、回覧、ホームページにより周知。産業まつりにブース出店を行い、市民の目につきやすいところで積極的な周知活動を展開。	B:実現に向けて取り組んでいる	窓口では、いつでも補助金の相談を受け付けており、相談会では参加者アンケートを実施。施策に意見を取り入れる機会を設けている。
「協働」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
個人情報を含んでおり、行政のみでしか実施できない。			
所管による評価とその理由、課題・問題点			
C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	耐震相談会を、計画通り年5回開催し、相談者は平成27年度より5組増加した。しかしながら、対象建築物の所有者が高齢化していることから耐震費用の捻出が困難な社会的背景があり、補助の増額が期待されている。よって、今年度より耐震改修の入口となる耐震診断費の市民負担額を軽減させたことにより利用者4組の増加につながった。また、相談者の多くは、対象建築物に増築を行っており、補助金の交付対象から外れてしまうことから、昭和56年以前の交付対象を平成12年以前に拡大する必要がある。		
企画政策課での評価とその理由			
C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	耐震診断の補助件数は4件増加したが、改修工事の補助までに結びつかなかった。対象範囲を拡大するだけでなく、補助金の増加等、補助を受けやすい制度を検討するものとする。		
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
※全ての補助対象建築物を平成12年5月31日以前とする。 年5回の耐震相談会を実施(年間相談組数上限20件) 産業まつりブース出店 耐震診断補助金利用者10件 耐震改修補助金利用者5件		市内建築物耐震化率83.55%(平成28年度耐震化率83.15%)	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
相談会:1回平成29年5月26日(金)、2回平成29年6月25日(日)、3回平成29年8月25日(金)、4回平成29年9月24日(日)、5回平成29年11月24日(金)、以上5回開催(各回、耐震診断士2名を派遣)産業まつり:平成29年11月3日(金)耐震相談ブースを出店、相談会等の周知:広報誌への掲載、HPへの掲載、自治会回覧		耐震化補助金の交付対象を昭和56年5月31日以前から平成12年5月31日へ拡大し、市民より要望の多かった旧耐震建築物に増改築した木造住宅への耐震補助を推進する。診断費、改修費補助金利用者の増加により耐震化率の向上につなげる。	

CHECK(評価)

ACIT(改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

実施計画整理番号	
307020101	
総合戦略 整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	不法投棄を未然に防止するとともに不法投棄されたごみについては適正に処理することを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員及び不法投棄監視員による随時パトロール ・ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布 ・千葉県環境衛生促進協議会への参加
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
	不法投棄件数の減少を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーの配布(3月) ・「ごみ集積所表示看板」及び「不法投棄防止警告看板」の配布(通年) ・千葉県環境衛生促進協議会(第四支部)への参加 ・不法投棄監視員(20名)によるパトロール(通年)

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,034	2,034	1,914	2,034	2,035	1,917	2,034	2,180	1,899
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	444	444	442	444	444	444	444	444
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	1	7	0	1
	一般財源	千円	1,590	1,590	1,472	1,590	1,590	1,466	1,590	1,735

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布	240	200	167	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	千葉県環境衛生促進協議会への参加	49	41	41	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	不法投棄物の回収及び処理	788	886	639	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	不法投棄監視員の配置	957	1,053	1,052	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,034	2,180	1,899	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーを各世帯に配布し、ゴミの排出方法の徹底に努めた。 ・自治会等に必要に応じて「ごみ集積所表示看板」及び「不法投棄防止警告看板」を配布した。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。(総会、理事会、研修会) ・不法投棄監視員(20名)によるパトロールを実施した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

整理番号	
307020101	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの実施回数(不法投棄監視員944回) ・看板の配布数(38枚) 		<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の報告件数(86件) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	ごみの排出方法の徹底を図るとともに、不法投棄の未然防止に努めた。	A:有効である	不法投棄された家電等は迅速に回収し、適正に処理を行った。	A:効率的である	不法投棄監視員のパトロールにより、不法投棄の未然防止に繋がっている。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	不法投棄監視員には毎月報告書の提出を義務付け、情報を共有している。	A:実現している	不法投棄監視員との連携を通じて取り組みを行った。	A:実現している	不法投棄監視員との連携を通じて取り組みを行った。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	家電等の小規模な不法投棄は依然として散見されるものの、大規模な不法投棄は近年発生していないことから、一定の成果を挙げているものとする。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	不法投棄件数については前年度より増加(前年度比+13件)しているが、各種取組は不法投棄防止に効果があったものと認められる。今後も関係団体と連携し、不法投棄防止に努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの実施回数 ・看板の配布数 		<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の報告件数 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーの配布(3月) ・「ゴミ集積所表示看板」及び「不法投棄防止警告看板」の配布(通年) ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加 ・不法投棄監視員(20名)によるパトロール(通年) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ収集カレンダーを各世帯に配布し、排出方法の徹底に努める。 ・「ゴミ集積所表示看板」及び「不法投棄防止警告看板」を配布する。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)によるパトロールを実施する。 		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

実施計画整理番号	
307020201	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
PLAN (計画) 3Rの推進により循環型社会の形成を目標とする。	・リサイクル推進委員会への活動支援 ・市民団体等へのリサイクル報償金の交付によるリサイクルの推進 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売 ・生ごみ処理機の購入費の助成
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
3Rの推進による、ごみの減量化を図る。	・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報奨金の交付(9月・3月) ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売ならびに生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年)

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	7,584	7,584	6,414	7,584	7,944	7,048	7,584	16,794	13,546	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	228	228	201	228	243	229	228	283	9,202
	一般財源	千円	7,356	7,356	6,213	7,356	7,701	6,819	7,356	16,511	4,344

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	資源ゴミの回収	1,710	11,298	8,598	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	資源ゴミ回収報償金の交付	3,972	3,702	3,225	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	リサイクル推進委員会の活動支援	1,116	1,116	1,116	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	生ごみ堆肥化容器の助成販売	426	426	414	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤	生ごみ処理機の購入費助成	360	252	193	更なる周知啓発に努める。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		7,584	16,794	13,546	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・直営による公共施設等の資源ゴミの回収を行った。(通年) ・自治会等の資源ゴミの回収量に応じて報償金を交付した。(9月、3月) ・リサイクル推進委員会に補助金を交付するなど、活動を支援した。 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売並びに生ごみ処理機購入費補助制度を通じて、生ごみの減量化に努めた。(通年)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

整理番号	
307020201	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル報償金の交付件数(267件) ・リサイクル推進委員会への助成(1,116千円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミの回収量(3,906t)前年比-336t ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数(67基)前年比-12基 ・生ごみ処理機購入費補助件数(11基)前年比-2基 	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である 市民団体等の理解と協力のもと、リサイクル事業の拡大が図られた。	B:やや有効である 民間事業者の参入に伴う、資源ゴミ回収量の減少により、報償金の在り方について見直す必要がある。	効率性の評価とその理由	
		A:効率的である 生ごみの減量化には生ごみ処理機が有効な手段であることから、引き続き補助を行う。	
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由	
B:実現に向けて取り組んでいる 広報紙や市ウェブサイトで生ごみ処理機の周知を図っているが、周知方法については更なる研鑽が必要。	A:実現している リサイクル推進委員会との連携を通じて取り組みを行った。	「協働」の状況とその理由	
		A:実現している リサイクル推進委員会との連携を通じて取り組みを行った。	
所管による評価とその理由、課題・問題点			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	循環型社会の形成を目指して「3R」の普及啓発に努めるとともに、リサイクル推進委員会との連携を通じて地域のリサイクル向上に努めた。		
企画政策課での評価とその理由			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取り組みも、3Rの推進による循環型社会の形成に効果があったものと認められる。今後も、関係団体と連携し、事業を推進していくものとする。		
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル報償金の交付件数 ・リサイクル推進委員会への助成 		<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミ回収量 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数 ・生ごみ処理機購入費補助件数 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報償金の交付(9月、3月) ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売並びに生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年) 		<ul style="list-style-type: none"> ・直営による公共施設等の資源ゴミの回収を行う。 ・自治会等の資源ゴミの回収量に応じて報償金を交付する。 ・リサイクル推進委員会に補助金を交付するなど、活動を支援する。 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売並びに生ごみ処理機購入費補助制度を通じて、生ごみの減量化に努める。 	

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

実施計画整理番号	
307040101	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	きれいで住みよい環境づくりを進めていくため、啓発活動を通して、市民の協力のもと美化活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 自治会への草刈り機の貸し出し ポイ捨て防止条例に基づく啓発 広報紙、パンフレット等による啓発活動
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働による地域の環境美化活動の推進。 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく適切な指導。 各種イベント時におけるポイ捨て防止の啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進(通年) 空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) 自治会への草刈り機の貸し出し(通年) ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動(5月) 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	879	879	871	991	923	910	879	863	828
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	879	879	871	991	923	910	879	863

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域の環境美化活動の推進	122	144	82	概ね達成できた。引き続き推進を図る。
②	空き地に係る雑草等の除去に関する指導	0	8	0	概ね達成できた。引き続き指導を行う。
③	自治会への草刈り機の貸し出し	165	105	84	概ね達成できた。引き続き貸し出しを行う。
④	ポイ捨て防止の啓発	74	64	83	概ね達成できた。引き続き啓発を行う。
⑤	ゴミゼロ運動の実施	518	542	579	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		879	863	828	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化を推進するため、自治会等の地域清掃に対しゴミ袋の配布や回収を行った。 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行った。(指導件数271件) 地域の環境美化を推進するため、自治会等に草刈り機の貸し出しを行った。(延べ123台) ポイ捨て防止条例に基づく啓発として、桜まつりや七夕まつり会場内において啓発物品の配布を行った。 ゴミゼロ運動実施(5月29日)、参加者数12,498人、回収量18.76t

DO(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

整理番号	
307040101	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数(街頭啓発2回) ・ゴミゼロ運動の開催回数(1回) ・草刈機貸出回数(延べ123台) 		<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数(ゴミゼロ運動市内全域12,498人)前年比-2,044人 ・地域清掃等の実施数(197回) ・ごみ回収量(ゴミゼロ運動18.76t)前年比-0.7t 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市民の協力のもと美化活動の推進に努めた。	A:有効である	ゴミゼロ運動や自主的な清掃活動の奨励を図り、地域ぐるみの美化活動を推進した。	B:やや効率的である	ポイ捨て防止には行為者の意識改革が必要であり、根気強く取り組む必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	ゴミゼロ運動においては、自治会等各種団体や参加企業と情報を共有している。	A:実現している	ゴミゼロ運動には市内全域で12,498人の参加があった。	A:実現している	地域清掃時には、ごみ袋の提供及び回収を行い、市民との協働による環境美化を図った。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民との協働による美化活動の推進という観点からは、一定の成果を挙げたものと考えている。ポイ捨て防止及び空地の雑草除去については、引き続き意識啓発に努める。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取り組みも美化活動の推進に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、啓発活動を通じて市民協働のもと、美化活動を推進するものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数 ・ゴミゼロ運動の開催回数 ・草刈機貸出回数 		<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 ・地域清掃等の実施数 ・ゴミ回収量 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動の推進(通年) ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) ・自治会への草刈機の貸し出し(通年) ・ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ・ゴミゼロ運動(5月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動に対しごみ袋の配布や回収を行う。 ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 ・自治会等に草刈機の適切な貸し出し。 ・ポイ捨て防止条例に基づく啓発。(市広報、桜まつり、七夕まつり) ・ゴミゼロ運動実施(5月29日) 		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

実施計画整理番号	307040102
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	当課で管理している桜などの消毒、自治会等への消毒機の貸出や衛生指導を行い、適正な環境づくりを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除 ・自治会等への消毒機の貸出 ・公共施設の蜂の巣駆除
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
	害虫の発生を抑制し、適正な環境づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月・9月) ・自治会等への消毒機の貸出(通年) ・公共施設の蜂の巣駆除(通年)

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	582	582	545	582	728	699	582	741	699
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	582	582	545	582	728	699	582	741

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除	497	648	648	害虫の発生する5月と9月に消毒を実施し、生活環境の保全を図った。引き続き実施する。
②	自治会等への消毒機の貸出	65	63	35	概ね達成できた。引き続き貸出しを行う。
③	公共施設の蜂の巣駆除	20	30	16	概ね達成できた。引き続き実施する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		582	741	699	

<p>平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回(5月、9月)実施した。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行った(通年) ・自転車歩行者道路脇の蜂の巣駆除(1件)を実施した。
--

DO(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

整理番号	
307040102	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 害虫の駆除回数(2回) 消毒機の貸し出し数(延べ23台、8団体) 		害虫駆除実施箇所数(酒盛橋から日進橋区間及び大芝地先)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	一宮川、豊田川沿いの桜の木は、観光資源として引き続き市が管理していく必要がある。	A:有効である	害虫の発生を抑制し、生活環境の保全を図る。	A:効率的である	害虫駆除は業務委託により効率的に行われている。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	桜の害虫駆除については、自治会回覧により周辺住民への周知を図った。	C:実現の余地がない	・特殊作業のため業者委託しており、市民参加の機会は提供していない。	A:実現している	自治会等に消毒機の貸し出しを行うことにより、協働による生活環境の保全に努めた。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	害虫の発生を抑制し、十分な成果をあげることができた。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取り組みも害虫防除による適切な環境づくりという目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き周知を図り、生活環境の保全を図るものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 害虫の駆除回数 消毒機の貸し出し数 		実施箇所数	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> 自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月・9月) 自治会等への消毒機の貸し出し(通年) 公共施設の蜂の巣駆除(通年) 		<ul style="list-style-type: none"> 豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 公共施設の蜂の巣駆除を実施する。 		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	05	01	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

実施計画整理番号	
307050101	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	水質汚濁、土壌汚染などの公害防止と発生時の迅速な対処ができるよう、監視機器の整備を図って、調査を実施し、また事業者の自主監視を推進するなど監視体制の充実に努める。また、自動車交通騒音の常時監視を行うことにより、地域の騒音曝露状況を把握する。	公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため、検査、監視する。騒音規正法第18条第1項に基づき、茂原市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
	水質検査・土壌検査・自動車騒音の常時監視を実施する。	河川水水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,336	1,336	966	1,336	1,325	945	1,336	1,155	914
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,336	1,336	966	1,336	1,325	945	1,336	1,155

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	水質検査の実施	676	693	547	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	土壌検査の実施	66	49	0	土壌汚染は発生しなかったため実施しなかったが事業は継続する。
③	騒音常時監視測定の実施	594	413	367	概ね達成できた。引き続き実施する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,336	1,155	914	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 546,782円 河川水19ヶ所(年1~3回)、湖沼水1ヶ所、地下水24ヶ所、工場排水4ヶ所
 道路交通騒音常時監視測定委託 367,200円 環境基準値 昼間70dB 夜間65dB ① 一般国道128号区間番号10890(茂原市高師、小林)評価区間全体、非近接空間で約10割の住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下。近接空間では、全ての住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下。昼間70dB 夜間64dB ② 一般国道409号区間番号11660(茂原市鷲巣、茂原) 全ての住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下。昼間67dB 夜間62dB

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	05	01	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

整理番号	
307050101	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 546,782円 河川水19ヶ所(年1~3回)、湖沼水1ヶ所、地下水24ヶ所、工場排水4ヶ所 道路交通騒音常時監視測定委託 367,200円 環境基準値 昼間70dB 夜間65dB ①一般国道128号区間番号10890(茂原市高師、小林)昼間70dB 夜間64dB②一般国道409号区間番号11660(茂原市鷺巣、茂原)昼間67dB 夜間62dB		河川水・湖沼水・地下水・工場排水全てで環境基準・排水基準を充たしている。 ①一般国道128号区間番号10890(茂原市高師、小林)評価区間全体、非近接空間で約10割の住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下。近接空間では、全ての住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下。②一般国道409号区間番号11660(茂原市鷺巣、茂原) 全ての住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下。			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため、検査監視をした。主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。	A:有効である	河川水質検査、地下水汚染の継続監視及び自動車騒音の常時監視により現状把握及び公害の未然発生防止に努めた。	A:効率的である	河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託、道路交通騒音常時監視測定委託により効率的に行った。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	河川水質結果については、広報及びホームページにて周知。道路交通騒音監視結果についてはホームページで周知している。	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取組も、公害の発生と発生時の迅速な対処という目的に資するものであり、ある程度の成果があったものと認められる。				
企画政策課での評価とその理由					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	水質検査及び騒音常時監視測定により、公害の未然発生防止に一定の成果が認められる。				
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
A	調査の実施回数等	A	調査の実施結果
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
河川水水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月		水質検査・土壌検査・自動車騒音の常時監視を実施する。	

CHECK(評価)

A C T(改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	自主防災組織支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	自主防災組織支援事業

実施計画整理番号	
308020101	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	自主防災組織の新規設立団体に対し、活動団体の支援を行い、地域防災力の向上を図る。	防災資器材及び戸別受信機を新規設立団体に貸与し、支援する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
自主防災組織3団体の新規設立。自主防災結成後に活動していない組織の減少。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長連合会総会において「自主防災組織を設立しましょう」チラシを配布(5月) ・職員出前講座の受付、開催(常時) ・千葉県地域防災力向上総合支援補助金による事業の検討(4月～7月) 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費		千円	645	645	473	645	4,700	4,226	645	5,767	1,693
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	165	165	112	165	183	1,246	165	2,650	638
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	461	461	361	461	497	132	461	394	394
	一般財源	千円	19	19	0	19	4,020	2,848	19	2,723	661

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	防災資器材の貸与	513	1,852	222	1団体に貸与し、今後も新設団体に貸与する。
	②	戸別受信機の貸与	132	394	394	9台購入し、1台は新設団体に貸与した。その他は、故障した場合の貸出用として保管。今後も新設団体に貸与する。
	③	自主防災訓練の実施支援	0	0	0	出前講座:8回 地域での防災訓練への支援:8回 防災指導員の地域への派遣:2回。今後も引き続き地域での防災訓練の支援を行う。
	④	リーダーの育成	0	421	421	自主防災組織のリーダー等を対象に、リーダー研修会を実施した。(88名参加) 今後も、リーダー研修会を実施する。
	⑤	自主防災組織の資機材整備に対する補助	0	3,100	656	5団体に補助金を交付した。今後も補助する。
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
	事業費計		645	5,767	1,693	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・新設した自主防災組織に資機材及び戸別受信機を貸与した
- ・出前講座を実施し、自主防災組織設立及び防災対策に関する啓発を行った
- ・自主防災組織のリーダーを対象にリーダー研修会を実施した
- ・既存自主防災組織の資機材整備に対する補助金の交付を行った

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	自主防災組織支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	自主防災組織支援事業

整理番号	
308020101	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	防災資機材、戸別受信機を1団体に貸与 職員出前講座及び地域の防災訓練への支援を実施		自主防災組織が76団体になり、カバー率が1.29%向上した。 職員出前講座を8回実施した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	防災対策は市の責務	A:有効である	防災活動に必要な資機材と 情報伝達手段である戸別受 信機の貸与は必須	D:効率的では ない	各自治会等による設立意 欲によるため
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	自治会、自治会長連合会、 ホームページにて情報発信	A:実現してい る	市民が自ら考え、立ち上げ るものであるため	A:実現している	市が資機材等の貸与や補 助を行い、市民が自主防災 組織を設立している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の 成果を挙げた (達成度4割~7 割)	新規の自主防災組織が1団体設立した。また、既存自主防災組織の資機材整備に対する補助金交付事業を5団体が活用し、資機材の整備を行った。これにより地域防災力が向上した。問題点としては、自主防災組織の設立は、住民の防災意識によるところが大きいことである。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の 成果を挙げた (達成度4割~7 割)	当初の目標であった新規の自主防災団体の設立3団体に対して、1団体の設立にとどまってしまったので、今後も住民の防災意識を高めるため、周知、啓発に努めるものとする。また、既存自主防災組織の資機材整備についても、予算執行率が低いことから、精査を必要とするものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材、戸別受信機の貸与数 ・職員出前講座の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織カバー率 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長連合会総会において、自主防災組織設立案内チラシを配布(5月) ・既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(7月~) ・リーダー研修会の実施(2月) ・新設した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(常時) ・出前講座の受付・実施(常時) 		<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織3団体の新規設立 ・自主防災組織設立後に活動していない組織の減少 		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	08	地域支え合い体制づくり事業

実施計画整理番号	
308020102	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	災害時要援護者避難支援プラン(全体計画)に基づき、避難支援を必要とする人々の個別計画を策定する。	災害時要援護者の情報管理に係る住基データの更新
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原警察署および消防本部への個別計画登録者情報の更新。 ・要援護者リスト(紙ベース)の更新。 ・市民に対する啓発活動の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DSKによる住民基本台帳データ更新(2ヵ月後ごと) ・福祉部各課からの災害時要援護者名簿の提供を受け、災害時要援護者避難システム保守委託による要援護者データの更新 ・庁内JIS稼動状況下における、情報更新と情報管理の検討 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	260	260	259	260	260	259	260	260	259
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	260	260	259	260	260	259	260	260

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	災害時要援護者の情報管理	260	260	259	災害時要援護者(要配慮者)のデータ更新を適切に実施できた。今後も継続して実施する必要がある。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		260	260	259	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<p>年に6回、住民基本台帳の異動データをもとに災害時要援護者(要配慮者)データの更新を保守契約により実施した。 ※現在の予算科目は3.1.1(07)</p>

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	08	地域支え合い体制づくり事業

整理番号	
308020102	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	年に6回、住民基本台帳の異動データをもとに災害時要援護者(要配慮者)データの更新を保守契約により実施した。		要配慮者の把握及び避難行動要支援者名簿を作成して災害に備えた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	自治体が関与すべき事業であり、総合計画における目的に合致する。	A:有効である	要配慮者の把握及び避難行動要支援者名簿を作成するものである。また、類似の目的を持つ事業はない。	A:効率的である	住民基本台帳の異動データを活用することは有効である。システム保守については検討の余地がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	避難行動要支援者名簿や個別計画については、避難支援者との情報共有が必要であるため、整備を進めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	災害時の地域の支え合いについては、避難支援等関係者との調整が必要であるため、整備を進めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	災害時の地域の支え合いについては、避難支援等関係者との調整が必要であるため、整備を進めている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	住民基本台帳の異動データをもとに災害時要援護者(要配慮者)データの更新を実施することで、要配慮者の把握及び避難行動要支援者名簿の作成により災害に備えることができた。今後は、災害対策基本法の一部改正による茂原市地域防災計画の修正を受け、避難支援プラン【全体計画】等を修正していく必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	要配慮者の把握及び避難行動要支援者名簿が更新されたことにより、当初の目的は達成されたと認められる。避難支援プラン【全体計画】等の修正を早急に行うものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	年に6回、住民基本台帳の異動データをもとに災害時要援護者(要配慮者)データの更新を実施する。		要配慮者の把握及び避難行動要支援者名簿を作成して災害に備える。	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
住民基本台帳の異動データ更新を受けて避難行動要支援者名簿を最新情報に更新(年6回) 避難支援プラン【全体計画】等の修正(8~3月)		要配慮者の把握及び避難行動要支援者名簿の更新 避難支援プラン【全体計画】等の修正		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	水防事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	01	02	水防事業

実施計画整理番号	
308020103	
総合戦略 整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	・防災体制の一環としての水防事業に必要な資材や器材の準備と確保	・資材、器材の補充と確保 ・水防協議会(準備)
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
雨水貯留施設設置促進の補助制度について、窓口、広報及び関係業界団体などに働きかけ、利用件数増加に努める。	水防資器材の継続的な維持と確保 雨水貯留施設設置補助の関係業界、団体への周知	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	787	4,565	1,980	541	2,480	772	541	910	521
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	787	4,565	1,980	541	2,480	772	541	910

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	水防資器材の整備・管理	539	447	406	水防資機材は毎年補充 補充を引き続き継続
②	水防協議会の開催	0	36	0	水防協議会は3～5年毎に実施したい
③	水防演習・訓練の参加	2	2	0	毎年実施、参加。引き続き実施
④	民間建築物への雨水貯留施設の設置促進	0	425	115	補助件数は多くない 補助制度の周知と利用促進を図りたい
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		541	910	521	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
概ね例年に同じ

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	水防事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	01	02	水防事業

整理番号	
308020103	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	水防資機材の補充と確保 雨水貯留施設設置補助申請件数の拡大		水防資機材の補充と確保は図られている 雨水貯留施設設置補助申請件数の拡大は未達成			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	B:ほぼ妥当である	水防資機材は継続的な充実が図られたが、雨水貯留施設設置補助の利用者が少ないため	B:やや有効である	継続的な充実が図られたが、雨水貯留施設設置補助の利用者が少ないため	C:あまり効率的ではない	雨水貯留施設設置補助の利用者が少ないため
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	水防資機材は継続的な充実はなじまない。雨水貯留施設設置補助は公表済	B:実現に向けて取り組んでいる	水防資機材は継続的な充実はなじまない。雨水貯留施設設置補助は広報掲載	B:実現に向けて取り組んでいる	水防資機材は継続的な充実はなじまない。雨水貯留施設設置補助は広報掲載
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	雨水貯留施設設置補助について利用者が少ない。関係業界、団体などへの周知を働きかけたい。				
	企画政策課での評価とその理由					
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	雨水貯留施設の補助事業については、周知方法の見直し等、利用の促進を図るものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

A C T (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	水防資機材の例年並みの数量の維持と確保 雨水貯留施設設置補助の関係業界、団体への周知		水防資機材の例年並みの数量の維持と確保 雨水貯留施設設置補助件数の前年比増	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
水防資機材の継続的な維持と確保 雨水貯留施設設置補助の関係業界、団体への周知		雨水貯留施設設置促進の補助制度について、窓口、広報及び関係業界団体などに働きかけ、利用件数増加に努める		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	防災行政無線施設費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	01	防災行政無線施設事業

実施計画整理番号	
308020201	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	災害発生時における市民への迅速かつ的確な情報伝達手段として整備している防災行政無線をデジタル化し、機能向上を図る。	現在の防災行政無線屋外子局の老朽化に伴うデジタル化への更新、並びに難聴地区解消のための新たな屋外子局を設置する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
新設および既設を合わせ19局の子局デジタル化を行う。	・工事対象子局及び新設対象子局 4月から8月 現地調査 9月 工事開始 翌年3月 工事完了	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	77,642	77,642	77,206	78,622	77,180	76,692	78,622	77,180	77,179
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	77,100	77,163	76,700	78,600	77,100	76,600	78,600	77,100
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	542	479	506	22	80	92	22	80

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	屋外子局のデジタル化	78,622	77,180	77,179	計画どおり19箇所のデジタル化工事を実施した。今後も市内全てのデジタル化を進める。
②	戸別受信機の設置	0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		78,622	77,180	77,179	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・東郷福祉センター付近、川代排水機場付近の難聴地域に2局新設 ・既存子局17局をデジタル化した ・市内防災行政無線子局数が153局となり、デジタル化率が49.7%に上昇した

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	防災行政無線施設費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	01	防災行政無線施設事業

整理番号	
308020201	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況		
	2局を新設及び既存17局を更新し、計画数19局を達成		防災行政無線デジタル化局数の増加により、デジタル化率49.7%に上昇。 難聴地域の一部解消。		
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由
	A:妥当である	市の防災行政無線整備は、市の責務である。	A:有効である	防災情報等の伝達に有効な施設であり、新設により難聴地域対策も行っている。	C:あまり効率的ではない デジタル化による工事費がかかり、子局増設により維持管理費が増加するが、平常時には、あまり多用する施設ではない。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由
	A:実現している	防災行政無線デジタル化工事に関係する自治会に自治会回覧を行っている。	A:実現している	住民からの要望による新設・スピーカー方向の調整等を行っている。	C:実現の余地がない
	所管による評価とその理由、課題・問題点				
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	デジタル化を行うことで施設の老朽化改善、音質の向上が図られた。子局の新設により一部難聴地域の解消が進められた。一方で、全ての難聴地域の解消、並びに住宅の遮音性の向上による屋内への情報伝達が課題となっているため、防災行政無線を補完する他の伝達手段の併用が必要である。			
	企画政策課での評価とその理由				
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の計画通りにデジタル化の工事を行ったことにより、難聴地域の解消等を行うことができた。今後も計画的にデジタル化を図るものとする。			
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・既存屋外子局のデジタル化による更新18局 ・難聴地域への屋外子局新設1局 		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化率の向上 ・難聴地域の解消 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> 工事対象子局及び新設子局 ・7月から8月 現地調査 ・11月 工事開始 ・翌年3月 工事完了 		<ul style="list-style-type: none"> ・新設及び既設を合わせ19局の子局デジタル化を行う。 		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	災害非常用対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	03	災害非常用対策事業

実施計画整理番号	
308020202	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	災害発生時の的確な応急対策及び体制を整備し、二次災害を防止することにより、被害の軽減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・二次避難所及び今後指定予定の二次避難所に備蓄倉庫を設置し、備蓄品の整備を行う。 ・市民の防災知識の普及や、自助共助精神の醸成を図るとともに、関係機関との災害対応の円滑化に向け地域防災訓練を実施する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	15,896	15,812	13,897	9,783	23,423	21,546	12,680	12,259	11,859	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	2,218	2,091	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	3,592	3,590	3,380	2,904	8,742	7,879	5,808	840	840
	一般財源	千円	12,304	12,222	10,517	6,879	14,681	10,441	6,872	9,201	8,928

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防災備蓄品の充実	5,794	5,277	5,021	防災備蓄倉庫に組立式トイレ等を計画どおり整備した。今後も継続して不足する物資を整備していく。
②	防災備蓄品の管理	2,300	1,831	1,812	期限が切れる備蓄食料等を更新した。今後も賞味期限等に合わせ更新していく。
③	地域防災訓練の実施	326	93	93	市の防災訓練及び地域での訓練に適用可能な保険に加入。H28は九都県市合同防災訓練を実施した。今後は、市内各地域の防災訓練を実施する。
④	防災気象情報システムの運用	3,849	3,849	3,849	防災気象情報を取得し、災害等への対応を行った。今後もより精度の高い情報の取得に努める。
⑤	防災情報のメール配信	411	397	320	台風等の災害情報の提供を行った。随時情報を提供していく。
⑥	防災マップの作成	0	0	0	
⑦	災害対策本部機能の保全・強化	0	139	136	衛星電話の維持管理、災害対策本部用のFAXの借り上げを行った。今後も本部体制の強化を継続して行う。
⑧	九都県市合同防災訓練の実施	0	673	628	第37回九都県市合同防災訓練を実施した。
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		12,680	12,259	11,859	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
<ul style="list-style-type: none"> ・組立式トイレ及び簡易トイレを避難所に整備。 ・期限切れ備蓄食料等の更新。 ・防災気象情報システム委託。 ・防災メールの配信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・九都県市合同防災訓練の実施

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	災害非常用対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	03	災害非常用対策事業

整理番号	
308020202	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の更新(6,450食) ・九都県市合同防災訓練開催 ・自動電話サービスの加入促進について、広報により周知 		<ul style="list-style-type: none"> ・食料備蓄率58.6%(人口の15%が避難し、1日2食3日分で計算した場合) ・九都県市合同防災訓練参加者:約5,000人 ・自動電話サービス加入者数75人(1人増加) 			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	防災体制の整備と備蓄は、市の責務	A:有効である	備蓄品の期限管理、本部体制の整備は災害対策上必要であり有効である	B:やや効率的である	備蓄品等の備蓄率向上を図ると更新等の経費が増大するが、備蓄品の管理を民間委託すると経費がより増大する。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	ホームページでの公表	B:実現に向けて取り組んでいる	備蓄品の更新、備蓄品の増加については参加の余地はないが、防災訓練については自治会と事前に協議している。	B:実現に向けて取り組んでいる	防災訓練においては、自治会や防災関係機関等と共同に取り組んでいる。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	備蓄品の整備及び更新について、計画どおり実施した。九都県市合同防災訓練については、約100機関、参加者約5,000人で実施した。また、情報伝達手段の多様化の1つとして自動電話サービスについても更なる周知をおこなっている。				
企画政策課での評価とその理由					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	災害用備品等の整備及び更新については、計画通り実施しているため、当初の目的は達成していると認められる。また、地域防災訓練の実施により、地域住民に対し、災害時の意識や行動力の向上に寄与したものと認められる。				
政策調整会議での評価とその理由					
(この欄は斜線が入ります)					
庁議における方針					
(この欄は斜線が入ります)					

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の更新(8,830食) ・住民参加型地域防災訓練の実施(二宮地区) ・防災メール、自動電話サービスの加入促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の備蓄率 ・地域防災訓練の開催及び参加者数 ・防災メール、自動電話サービスの加入者数 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の更新・拡充(8月～11月) ・災害用備蓄品の購入(8月～12月) ・地域防災訓練(二宮地区)の開催(10月) ・防災メール、自動電話サービスの加入促進(常時) ・気象情報システムの運用(常時) 		<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の機能を強化し災害対応力の向上を図る。 ・地域防災訓練を実施し地域住民の災害に対する意識や行動力の向上を図る。 	

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	防犯対策事業

実施計画整理番号	
309010101	
総合戦略整理番号	42103

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民が安心して暮らせるよう、各防犯団体と協力し、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚を図る。	年間を通じた防犯パトロール活動 関係団体との連携と助成
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
地域住民を主体に、だれもが防犯意識を持つことを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた防犯パトロール。 関係団体との連携と助成。 広報啓発活動。 防犯ボックス(県補助事業)の検討・協議。 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	4,561	4,561	4,267	4,592	4,499	4,132	4,705	4,381	4,198
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	100	100	84	100	100	90	100	143
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,461	4,461	4,183	4,492	4,399	4,042	4,605	4,281

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯パトロール活動	254	314	281	概ね達成できた。引き続き活動する。
②	地域防犯団体活動支援	2,445	2,430	2,410	概ね達成できた。引き続き活動する。
③	安全安心パトロールの実施	2,006	1,637	1,507	概ね達成できた。引き続き活動する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,705	4,381	4,198	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市防犯組合及び自主防犯組織に対し、活動の助成(のぼり旗・ポール・腕章・防犯キャップ・傷害保険) ・防犯パトロールの実施(安全安心パトロール業務委託、市防犯組合、自主防犯団体、市職員等) ・関係団体(茂原警察署、茂原警察署管内防犯組合連合会、茂原市防犯組合)との連携と助成 ・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん参加) ・茂原警察署管内暴力団排除対策協議会の運営 	

DO(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010101	
3	09	01	01	防犯対策事業	2	01	13	02	防犯対策事業	総合戦略 整理番号	42103

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況				28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・自主防犯組織の助成(35団体、帽子・誘導灯・腕章131セット、のぼり旗・ポール70セット、傷害保険1,131人135,700円)・防犯パトロール(安全安心パトロール:月10回1,506,816円、市防犯組合:10団体のべ129回、自主防犯団体36団体5,496回)・関係団体への助成(茂原警察署管内防犯組合連合会1,779,000円、茂原市防犯組合210,000円)・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん参加アスモ等8回)・茂原警察署管内暴力団排除対策協議会 専門部会、総会の開催(11月)				犯罪認知件数の減少(1,038件(前年比-93件))			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。	A:有効である	犯罪認知件数が、減少傾向であるため。	A:効率的である	引き続き、犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	関係団体との連携や助成、広報啓発活動を行った。	A:実現している	自主防犯組織への助成等、関係団体との連携を通じて取り組みを行った。	A:実現している	関係団体との連携を通じて、取り組みを行った。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	犯罪認知件数が減少したため、十分な成果を挙げることができた。課題として、市内各地域の犯罪をなくすため、地域住民が一体となった防犯体制の整備や環境づくりを、より一層すすめる必要がある。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組により、犯罪認知件数が減少した(H27 1,131件 H28 1,038件 前年比-93件)ため、十分な成果を挙げることができたと認められる。今後は、更なる地域ぐるみの防犯活動の啓発、支援に努めるものとする。また、平成30年より開始する防犯ボックス事業に向けて万全を期して開始できるよう準備・調整を期待する。							
政策調整会議での評価とその理由								
/								
庁議における方針								
/								

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定				29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・防犯関係団体との連携と助成 ・防犯パトロール(業者委託、市防犯組合、自主防犯団体、市職員等) ・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん)等の広報啓発活動 ・茂原警察署管内暴力団排除対策協議会 ・防犯ボックス事業(県補助)の調整・協議				・犯罪認知件数の減少			
29年度における事務事業スケジュール				平成29年度における具体的な目標				
・年間を通じた防犯パトロール。 ・関係団体との連携と助成。 ・広報啓発活動。 ・防犯ボックス事業の調整・協議				・平成30年4月開始に向けた、防犯ボックスの設置				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防犯設備設置・管理費

実施計画整理番号	
309010201	
総合戦略整理番号	42103

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民が安心して暮らせるよう市内に防犯灯の設置及び維持管理を行う。	防犯灯の設置・維持管理 自治会所有の防犯灯への維持管理補助 防犯カメラの設置・保守
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
	防犯灯の適正な管理運営	防犯灯・防犯カメラの維持管理。防犯灯の設置、移管。自治会への防犯灯維持管理費の助成。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	34,225	34,234	33,564	34,375	44,643	41,319	34,526	31,356	29,041
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	4,000	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	34,225	34,234	33,564	34,375	44,643	37,319	34,526	31,356

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯灯の設置・管理	31,334	28,091	26,886	概ね達成できた。引き続き設置・維持管理する。
②	自治会所有防犯灯への電気料補助	2,955	2,941	2,084	概ね達成できた。引き続き補助する。
③	防犯カメラの管理・運用	237	324	71	概ね達成できた。引き続き維持管理する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		34,526	31,356	29,041	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯の設置、移管、維持管理 ・自治会所有防犯灯への維持管理の助成 ・防犯カメラの維持管理

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防犯設備設置・管理費

整理番号	
309010201	
総合戦略 整理番号	42103

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の維持管理数(7,998灯) 防犯灯の設置数(37灯)、自治会から市への移管数(50灯、事業者:31灯) 自治会への防犯灯維持管理費の助成(74自治会・1,248灯・2,084,437円) 防犯カメラの維持管理数(維持管理27台) 		犯罪認知件数の減少(1,038件(前年比-93件))			
	妥当性の評価とその理由 A:妥当である 安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。		有効性の評価とその理由 A:有効である 犯罪認知件数の減少等、取り組みの成果を得た。		効率性の評価とその理由 A:効率的である 引き続き犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。	
	「情報の共有」の状況とその理由 A:実現している 市民に対して関係機関と連携して提供した。		「参加」の状況とその理由 A:実現している 防犯灯の設置や自治会の防犯灯管理費の助成等の取り組みを行った。		「協働」の状況とその理由 A:実現している 防犯灯設置や自治会への助成等を通じて取り組みを行った。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		犯罪認知件数が減少したため、十分な成果を挙げることができたと捉えている。課題として、現状の防犯設備を維持管理しながら、より市全域で充実した防犯設備の配置を検討する必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		防犯灯を新規に設置したことにより、犯罪認知件数の減少に寄与したものと認められる。今後は、更なる防犯灯の設置、整備を推進するとともに防犯カメラを活用し、安全安心なまちづくりに努めるものとする。			
	政策調整会議での評価とその理由					
	庁議における方針					

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の維持管理・設置・移管 自治会への防犯灯維持管理費の助成 防犯カメラの維持管理 		<ul style="list-style-type: none"> 犯罪認知件数の減少 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯、防犯カメラの維持管理・設置・移管 自治会への防犯灯維持管理費の助成 		<ul style="list-style-type: none"> 犯罪認知件数の減少 防犯灯の維持管理・設置・移管 防犯カメラの設置 		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	01	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	交通安全対策事業

実施計画整理番号	
310010101	
総合戦略整理番号	42104

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	交通安全運動啓発 茂原交通安全協会主催の交通安全教室の実施
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に関する交通事故の減少 ・交通情勢に適した啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・第10次茂原市交通安全計画の策定 ・高齢者の交通安全対策と自転車の安全利用対策 ・四季の交通安全運動等の広報啓発活動 ・関係団体との連携と助成 ・交通安全推進市民大会の参加者数 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,259	2,259	2,220	1,166	1,225	1,131	921	1,424	1,402	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,259	2,259	2,220	1,166	1,225	1,131	921	1,424	1,402

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	交通安全推進市民大会の開催	195	224	223	概ね達成できた。引き続き開催する。
②	交通安全ポスター展の開催	70	70	68	概ね達成できた。引き続き開催する。
③	交通安全教室・交通安全運動の支援	164	126	108	概ね達成できた。引き続き支援・推進する。
④	交通安全活動団体の支援	492	1,004	1,003	概ね達成できた。引き続き支援する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		921	1,424	1,402	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。 ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。 ・交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	01	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	交通安全対策事業

整理番号	
310010101	
総合戦略 整理番号	42104

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・第10次茂原市交通安全計画の策定 ・四季の交通安全運動等の街頭啓発(6回) ・関係団体への助成(1,003千円) ・交通安全フェア★もばら(交通安全推進市民大会)の参加者数(1,000人) 	交通事故発生件数の減少 (市内413件(前年比-28件)、郡内609件(前年比-25件))

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	交通安全対策を推進した。	A:有効である	交通事故発生件数が減少した。	B:やや効率的である	特に高齢者や自転車に関する交通安全対策の推進が必要である。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	街頭啓発、広報誌、市ウェブサイト、交通安全推進市民大会の開催などを行った。	A:実現している	街頭啓発、交通安全推進市民大会の開催や関係団体との連携を通じて取り組みを行った。	A:実現している	関係団体との連携を通じて取り組みを行った。

CHECK (評価)

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	交通事故発生件数は減少傾向にあり、本事業によるものと考え、十分な成果を挙げたものと考えている。引き続き、交通安全対策の推進に努める。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民に対して交通安全に関する啓発活動を行ったことにより、交通事故が減少した理由の一端と考えられるため、一定の成果が認められる。今後も引き続き交通安全に関する知識の普及や交通安全思想の高揚を図るものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通安全対策と自転車の安全利用対策 ・四季の交通安全運動等の広報啓発活動・関係団体との連携と助成 ・交通安全推進市民大会の参加者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・署管内と市内の交通事故発生件数・死亡者数の減少 ・高齢者に関する交通事故発生件数の減少 ・自転車に関する交通事故発生件数の減少

A C T (改善)

29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標
<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。 ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。 ・交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催 	交通事故発生件数の減少

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設等整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業

実施計画整理番号	
310010201	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	歩行者、自転車の安全を確保するために、通学路を中心とした自転車歩行者道の整備を推進する。	自転車歩行者道の工事を実施する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
工事予定箇所を早期整備し歩道網整備計画の整備率の向上に努める。	2級18号線・・・上半期の工事発注をする。 2級21号線・・・上半期に地質調査などに委託を発注し、早期に用地買収を行う。 2級34号線・・・第三四半期に工事発注する。	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	60,000	54,339	47,200	59,000	32,617	31,708	60,000	57,358	37,466	
財源内訳	国補助	千円	33,000	29,886	25,960	32,450	10,804	8,731	33,000	12,650	12,100
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	24,200	22,000	20,100	23,800	15,900	19,700	24,200	43,200	8,800
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	5,259
	一般財源	千円	2,800	2,453	1,140	2,750	5,913	3,277	2,800	1,508	11,307

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市道1級17号線の自転車歩行者道整備	25,000	0	0	
②	市道2級18号線の自転車歩行者道整備	20,000	10,908	10,908	予定箇所の整備は完了した。今後、継続箇所の整備工事を行う。
③	市道2級21号線の自転車歩行者道整備	15,000	13,092	11,099	予定箇所の整備は完了した。今後、継続箇所の整備工事を行う。
④	市道2-34の自転車歩行者道整備(企業誘致関連)	0	33,358	15,459	予定箇所の整備は完了した。今後、継続箇所の整備工事を行う。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		60,000	57,358	37,466	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
2級18号線	・・・ 歩道設置及び道路改良工事 L=80.6mを実施した。
2級21号線	・・・ 用地及び調査を行い、5人の地権者より用地を取得した。(合計 506㎡)
2級34号線	・・・ 歩道整備工事 L=298.6mを実施した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設等整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業

整理番号	
310010201	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	歩道整備延長 379mの歩道整備を行った。		整備率 58.0km/124Km 46.8%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	整備済箇所は歩道として供用出来るため、通航車の安全が図れた。	B:やや効率的である	整備延長が長く、単年度での完了は難しいため、現状維持が効果的適度である。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	自転車・歩行者の安全確保に関して十分な成果をあげている。未整備路線が多数あるので、事業拡大の必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の計画通りに整備の進捗が図られていることから、当初の目的は達成されていると認められる。引き続き計画的な整備を行うものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	歩道整備延長		整備率	
	29年度における事務事業スケジュール			
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
2級18号線 … 上半期中に工事発注する。 2級21号線 … 用地・地質について調査を行い、用地の取得を行う。 1級5号線 … 第3四半期に工事発注を行う。 自歩道 … 上半期に用地取得し、第3四半期に工事発注を行う。		2級18号線 … 隣接する田の稲刈り直後に工事着手となるよう発注する。 2級21号線 … 調査と並行し、用地取得を推進する。 1級5号線 … 工事設計、発注を行う。 自歩道 … 用地取得を実施し、工事設計、発注を行う。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

実施計画整理番号	
310010202	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	交通事故防止のため、区画線やカーブミラー等の交通安全施設の整備補修を行う	通学路を中心とした学童の安全と、歩行者や自転車が安全に通ることができるよう区画線の設置や引き直しを実施する
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。	交通安全施設の整備補修を行う	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,300	17,598	15,838	3,300	9,508	9,421	3,300	20,887	20,830
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,300	17,598	15,838	3,300	9,508	9,421	3,300	20,887

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	区画線の補修	2,000	18,586	18,582	継続的に区画線の補修を行っていく
②	交通安全施設の整備・管理	1,300	2,301	2,248	継続的に交通安全施設の整備・管理を行っていく
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		3,300	20,887	20,830	

<p>平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <p>交通安全施設整備工事18箇所 カーブミラー、反射立看板等購入</p>
--

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

整理番号	
310010202	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	交通安全施設の整備補修18箇所		交通安全施設の整備完了18箇所			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市が設置している交通安全施設については市が主体的に整備補修する必要がある。	A:有効である	交通安全施設の整備補修により交通事故防止に寄与した。	B:やや効率的である	交通安全施設の補修が一部にとどまったため。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、交通安全施設の整備補修箇所が多数残っている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね計画通り事業の進捗が図られており、一定の成果があったものと認められる。引き続き、計画的な整備補修を行うものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(斜線表示)						
庁議における方針						
(斜線表示)						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	交通安全施設の整備補修箇所数。		交通安全施設の整備が完了した箇所数。	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
交通安全施設の整備補修を行う。		地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	放置自転車等対策事業

実施計画整理番号	
310010501	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	放置自転車等による歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保を図る。	放置自転車防止啓発活動 駅前放置自転車の整理
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
回収した放置自転車台数の減	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な放置自転車の撤去。 ・自転車等駐車対策協議会の開催(5月)。 ・千葉県自転車問題対策委員会への参加(7月)。 ・年間を通じた広報啓発活動。 ・市内高等学校での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン) 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	1,279	1,291	1,277	1,291	1,329	1,229	1,291	968	843	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	1,279	1,291	1,277	1,291	1,329	1,229	1,291	968	843
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	放置自転車等防止啓発	297	256	189	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	駅前放置自転車等の整理	924	642	642	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	放置自転車等対策の検討・協議	70	70	12	概ね達成できた。引き続き検討・協議する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,291	968	843	

<p>平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車クリーンキャンペーン等の広報啓発活動 ・駅前放置自転車整理委託(公益社団法人茂原市シルバー人材センター) ・千葉県自転車問題対策委員会への参加
--

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	放置自転車等対策事業

整理番号	
310010501	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去数(225台) ・啓発活動数(60回) 		放置自転車の数(前年度比+19台)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	「自転車等放置防止に関する条例」に基づいた事業の実施のため。	A:有効である	放置自転車が微増したが、駅前環境の美観の維持に寄与している。	A:効率的である	放置自転車の状況により、毎年見直している。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	撤去した自転車の所有者に対して引き取り通知を送付した。また、学生であれば通う学校に通知した。	A:実現している	関係団体と放置自転車等について協議した。	A:実現している	関係団体と放置自転車等について協議した。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	放置自転車は微増したが、十分な成果を挙げた。引き続き、放置自転車の減少に努める。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取り組みにより放置自転車の抑制や交通環境の確保等、一定の成果が認められる。今後も、市民等への周知、啓発に努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
/						
庁議における方針						
/						
ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去台数 ・啓発活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少 			
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な放置自転車の撤去。 ・年間を通じた広報啓発活動。 ・市内高等学校での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン) 		<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少 				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	03	自転車駐車場管理運営費

実施計画整理番号	
310010502	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	駅周辺の良好な交通環境整備のため、自転車駐車場を管理運営する。	自転車駐車場の管理運営
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
一層の安全な交通環境整備のため、安心して利用できる適正な施設管理をし、利用者の増を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場業務委託(4月)。 ・年間を通じての施設管理。 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	39,591	39,591	39,579	39,824	39,727	39,693	40,141	39,632	39,173	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	39,591	39,591	39,579	39,824	39,727	36,596	40,141	39,632	39,173
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	3,097	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車駐車場施設管理	1,369	1,410	952	概ね達成できた。引き続き管理する。
②	自転車駐車場の運営	38,772	38,222	38,221	概ね達成できた。引き続き管理する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		40,141	39,632	39,173	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場業務委託(公益社団法人茂原市シルバー人材センター) ・自転車駐車場の維持管理 ・自転車駐車場用地の借上げ(東日本旅客鉄道株式会社)

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	03	自転車駐車場管理運営費

整理番号	
310010502	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって利便性の高い施設の維持管理(場内照明灯修繕等) ・自転車駐車場(駐車可能台数:3,606台)の整備 ・自転車駐車場利用者数 (延べ人数 定期:17,694件、一時:69,645件、還付:7件) ・放置自転車の撤去数(225台) 		放置自転車の減少(前年度比+19台)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 「茂原市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例」に基づいた事業の取り組みを行った。		A:有効である 放置自転車の防止と安全な交通環境の確保、駅前環境の美観の維持に寄与している。		A:効率的である 運営経費を維持したまま、利用者のニーズにあった運営(利用時間の拡大等)を行った。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 広報や市ウェブサイト等で広報した。高校入学説明会における施設利用案内の配布した。		A:実現している 指定管理者が利用者の意見書を場内で集め、市と協議し運営に反映させた。		C:実現の余地がない 指定管理者に委ねた。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		年間延87,000人を超える利用者があり、十分な成果を挙げた。課題として、利用者が年々減少傾向であり、委託料や施設維持管理費用が増加傾向にあることから、今後の施設運営について協議する必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		利用者の減(前年比△5,647人)及び放置自転車の撤去数の増(前年比+19台)など様々な問題があり、更に年々管理運営費が増加しているので、抜本的な変更が必要と思われる。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場の駐車可能台数 ・施設利用の促進・啓発活動数 ・自転車駐車場利用者数 ・放置自転車の撤去台数 		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場利用者の増加 ・放置自転車の減少 	
29年度における事務事業スケジュール			平成29年度における具体的な目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場業務委託(4月) ・年間を通じての施設管理 ・指定管理者選定(平成30年度から複数年契約) 			<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場利用者の現状維持 ・放置自転車の減少 ・指定管理者決定 (平成30年度から複数年契約 公募型プロポーザル方式による) 	

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	11	01	01	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	02	消費生活相談事業

実施計画整理番号	
311010101	
総合戦略整理番号	-

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
P L A N (計画) 消費者の保護を図るため、消費生活相談体制の充実に努める。 また、トラブルを未然に防止するため、市民を対象とした消費生活講座及び街頭啓発を行い、消費生活に関する知識の普及や啓発に努める。	消費生活相談の実施 消費生活支援講座・消費生活講座の実施 啓発活動
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
・消費生活相談員・担当職員の研修参加により資質向上を図る。 ・見守りネットワーク構築のため、サポーター登録制度を整備する。	・通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加 ・H28.9月～12月 中学1年生に対する出前授業 ・H28.9月 消費生活支援講座 ・H28.10月～12月 消費生活講座(全3回) ・H28.7月～9月 啓発活動

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,395	2,395	2,343	1,993	2,244	2,242	1,993	2,633	2,583
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,184	2,184	2,132	0	2,017	2,013	0	2,039
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	211	211	211	1,993	227	229	1,993	594

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	消費生活相談の実施	1,763	1,823	1,800	トラブル解決のため、平日毎日相談を実施した。今後も相談員の資質向上に努め、相談体制を充実させる。
②	かしこい消費者づくりの推進	95	263	252	一般及び中学1年生を対象に講座を開催し、消費者意識の高揚に努めた。今後も消費者教育の推進に努める。
③	消費生活センターの運営	135	547	531	消費生活センターを行政組織規則上の組織に位置付け、体制を強化した。今後も充実に努める。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,993	2,633	2,583	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を簡条書きで具体的に記入)
・消費生活相談を平日毎日実施 ・消費生活講座、消費生活支援講座の開催。 ・NPO主催の子どもあそびひろばにて消費生活コーナーを開催。 ・相談員の研修のため弁護士による研修会の開催及び国・県等への研修に積極的に参加し、資質向上に努めた。 ・消費生活推進員と共にセンターの啓発活動をショッピングプラザアスモで実施。 ・市内全中学1年生を対象に啓発用冊子を活用し、消費生活に関する出前授業を実施。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	11	01	01	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	02	消費生活相談事業

整理番号	
311010101	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況												
<ul style="list-style-type: none"> ・案内チラシ:(30,000枚105千円)・案内ポスター:(50枚57千円) ・消費生活支援講座(1回60千円)、消費生活講座(2回6千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活支援講座(年1回・50名)、消費生活講座(年3回・延べ90名)が参加。出前講座は1回実施。 ・講座アンケートによる満足度は90%以上を達成。 ・広報、チラシの毎戸配布・街頭啓発によりセンターの周知を図った。 												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">妥当性の評価とその理由</th> <th colspan="2">有効性の評価とその理由</th> <th colspan="2">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:妥当である</td> <td style="width: 35%;">消費生活相談は地方自治体が行う行政サービスである。</td> <td style="width: 15%;">A:有効である</td> <td style="width: 35%;">市民の消費者トラブル解決のため有効である。</td> <td style="width: 15%;">A:効率的である</td> <td style="width: 35%;">専門の相談員が適正に配置されているが、相談の多様化、消費者教育の必要性により相談員の増員が必要になる可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由		A:妥当である	消費生活相談は地方自治体が行う行政サービスである。	A:有効である	市民の消費者トラブル解決のため有効である。	A:効率的である	専門の相談員が適正に配置されているが、相談の多様化、消費者教育の必要性により相談員の増員が必要になる可能性がある。
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由									
A:妥当である	消費生活相談は地方自治体が行う行政サービスである。	A:有効である	市民の消費者トラブル解決のため有効である。	A:効率的である	専門の相談員が適正に配置されているが、相談の多様化、消費者教育の必要性により相談員の増員が必要になる可能性がある。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「参加」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:実現している</td> <td style="width: 35%;">センターチラシ毎戸配布や広報掲載により消費生活センターの周知及び事例・情報提供など定期的に実施している。</td> <td style="width: 15%;">B:実現に向けて取り組んでいる</td> <td style="width: 35%;">推進員等を通じて提言を受け取る環境を整備している。</td> <td style="width: 15%;">A:実現している</td> <td style="width: 35%;">NPOと協働してイベントを実施している。啓発やセンター事業の運営について協働の可能性を検討していく。</td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由		A:実現している	センターチラシ毎戸配布や広報掲載により消費生活センターの周知及び事例・情報提供など定期的に実施している。	B:実現に向けて取り組んでいる	推進員等を通じて提言を受け取る環境を整備している。	A:実現している	NPOと協働してイベントを実施している。啓発やセンター事業の運営について協働の可能性を検討していく。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由									
A:実現している	センターチラシ毎戸配布や広報掲載により消費生活センターの周知及び事例・情報提供など定期的に実施している。	B:実現に向けて取り組んでいる	推進員等を通じて提言を受け取る環境を整備している。	A:実現している	NPOと協働してイベントを実施している。啓発やセンター事業の運営について協働の可能性を検討していく。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">所管による評価とその理由、課題・問題点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td style="width: 85%;">消費者安全法の改正により、消費生活センターの組織及び運営等について条例を制定し、行政組織規則や行政機構図においてもセンターの位置付けを明確にし、広く市民に周知するとともに相談窓口の利用促進が図れた。相談体制の充実だけでは消費者被害は減らないため、被害の掘り起し等、消費者被害の未然防止に向けた消費者教育と啓発活動を通して市民の消費生活の安定と向上に努める。また、消費生活上特に配慮を要する消費者の見守り等必要な取り組みを検討する。</td> </tr> </tbody> </table>		所管による評価とその理由、課題・問題点		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	消費者安全法の改正により、消費生活センターの組織及び運営等について条例を制定し、行政組織規則や行政機構図においてもセンターの位置付けを明確にし、広く市民に周知するとともに相談窓口の利用促進が図れた。相談体制の充実だけでは消費者被害は減らないため、被害の掘り起し等、消費者被害の未然防止に向けた消費者教育と啓発活動を通して市民の消費生活の安定と向上に努める。また、消費生活上特に配慮を要する消費者の見守り等必要な取り組みを検討する。								
所管による評価とその理由、課題・問題点													
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	消費者安全法の改正により、消費生活センターの組織及び運営等について条例を制定し、行政組織規則や行政機構図においてもセンターの位置付けを明確にし、広く市民に周知するとともに相談窓口の利用促進が図れた。相談体制の充実だけでは消費者被害は減らないため、被害の掘り起し等、消費者被害の未然防止に向けた消費者教育と啓発活動を通して市民の消費生活の安定と向上に努める。また、消費生活上特に配慮を要する消費者の見守り等必要な取り組みを検討する。												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">企画政策課での評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td style="width: 85%;">多様な消費生活相談に対し、的確な助言等の相談業務を実施したことにより、成果があったものと認められる。今後も複雑多様化した相談に対処できるため、相談員個々のレベルアップに努めるものとする。</td> </tr> </tbody> </table>		企画政策課での評価とその理由		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	多様な消費生活相談に対し、的確な助言等の相談業務を実施したことにより、成果があったものと認められる。今後も複雑多様化した相談に対処できるため、相談員個々のレベルアップに努めるものとする。								
企画政策課での評価とその理由													
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	多様な消費生活相談に対し、的確な助言等の相談業務を実施したことにより、成果があったものと認められる。今後も複雑多様化した相談に対処できるため、相談員個々のレベルアップに努めるものとする。												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">政策調整会議での評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 85%;"></td> </tr> </tbody> </table>		政策調整会議での評価とその理由											
政策調整会議での評価とその理由													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">庁議における方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 85%;"></td> </tr> </tbody> </table>		庁議における方針											
庁議における方針													

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定				
<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活各種講座の実施 ・消費生活センターの周知と啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施回数を年3回、出前講座で2回以上 ・講座アンケートで講座内容の満足度90%以上 ・消費生活センターの周知啓発を年2回以上 				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>29年度における事務事業スケジュール</th> <th>平成29年度における具体的な目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加 ・H29.9月～12月 中学1年生に対する出前授業 ・H29.10月 消費生活支援講座 ・H29.11月～12月 消費生活講座(全3回) ・H29.7月～9月 啓発活動 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員・担当職員の研修参加により資質向上を図る。 ・見守りネットワーク構築のため、庁内連携を図る。 </td> </tr> </tbody> </table>		29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加 ・H29.9月～12月 中学1年生に対する出前授業 ・H29.10月 消費生活支援講座 ・H29.11月～12月 消費生活講座(全3回) ・H29.7月～9月 啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員・担当職員の研修参加により資質向上を図る。 ・見守りネットワーク構築のため、庁内連携を図る。
29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加 ・H29.9月～12月 中学1年生に対する出前授業 ・H29.10月 消費生活支援講座 ・H29.11月～12月 消費生活講座(全3回) ・H29.7月～9月 啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員・担当職員の研修参加により資質向上を図る。 ・見守りネットワーク構築のため、庁内連携を図る。 				

CHECK (評価)

ACT (改善)